

## 関西館で、9月15日までアジア情報室ミニ展示 「アジア言語で読む 日本の古典」を開催しています。

村上春樹氏の各作品をはじめ、村田沙耶香氏の『コンビニ人間』や柚木麻子氏の『BUTTER』など、毎年多くの日本人作家の文学作品が海外で翻訳され人気を博しています。

実は現代文学だけでなく、日本が誇る古典文学作品も多くの言語に翻訳され、世界中で出版されてきました。「源氏物語」の中国語やアラビア語の翻訳、ウルドゥー語で書かれた「万葉集」、「紫式部日記」のトルコ語版など、私たちが普段目にする事のない翻訳資料がたくさんあります。

国立国会図書館関西館（京都府相楽郡精華町精華台 8-1-3）

では、「アジア言語で読む 日本の古典」と題し、翻訳された日本古典文学作品の中から選りすぐった約 40 点の資料を展示しています。

また、展示に関連した記事（白瀧千優「アジア言語で日本の古典を読む」『アジア情報室通報』より、<https://dl.ndl.go.jp/pid/14704969>）を会場で配布しています。

展示は9/15（火）まで開催いたします。関西館の特徴的な所蔵資料の1つであるアジア言語資料の奥深さを、ぜひ実感してください。

### ●展示期間・時間

- 開催期間 5/8（金）～9/15（火）（日祝と第3水曜は休館）
- 展示時間 開館日の9:30-18:00。入館は18歳以上から

### ●取材にあたってのご留意事項

展示全体の様子分かる形で撮影可能です。  
著作権等の関係で、原則として展示資料の撮影及び紙面等への掲載ができません。  
その他、詳しくは以下にお問い合わせください。

（展示内容について） 関西館アジア情報課 本田（電話：0774-98-1371）  
（取材について） 関西館総務課 福嶋（電話：0774-98-1225）



展示資料のリストは  
こちらをご覧ください。